

# MicroPeckerX 応答性能が大幅向上!



ダイレクト送信機能のレスポンスが大幅に向上してシミュレーション送信が更に使いやすくなりました。

## 1. 受信メッセージに対する応答送信のレスポンス高速化

- ログトリガ（特定のログを検出し、イベント送信）機能の応答性が向上 **6ms→2ms** に短縮
- 従来機種 MicroPecker CAN アナライザと比較すると **1/5** に短縮

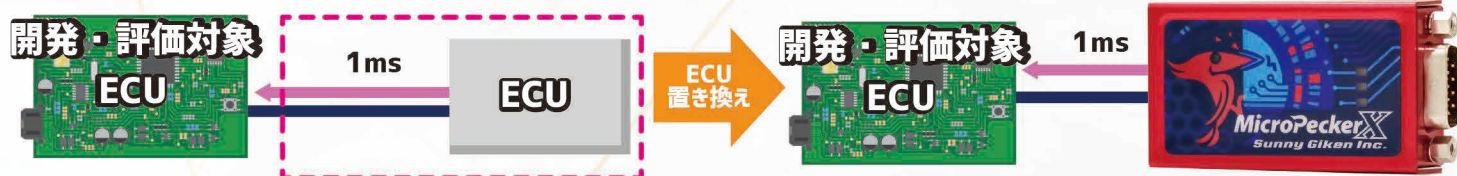
## 2. メッセージ認証子フレームの周期送信が最短1ms 対応

- セキュリティメッセージの周期送信が **10 倍** に高速化
- 周期送信の最短設置可能値 **10ms→1ms** に短縮
- 模擬 ECU としての利用範囲が拡大

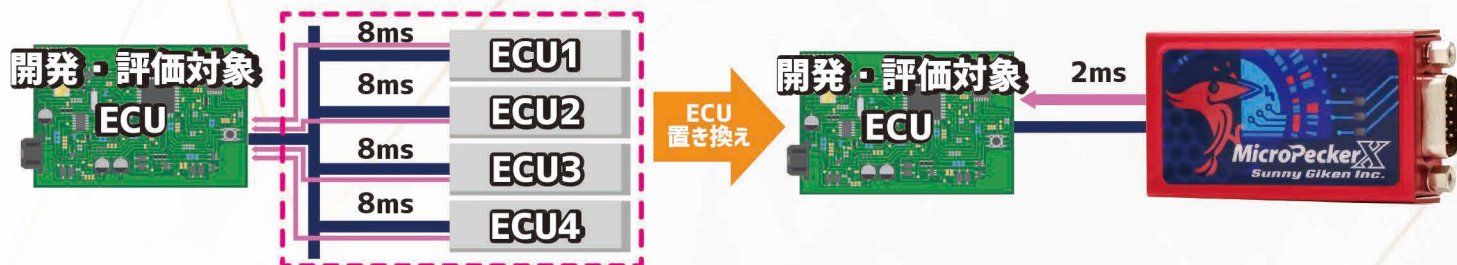
### 【新しい用途】

— CAN/CAN-FD Bus

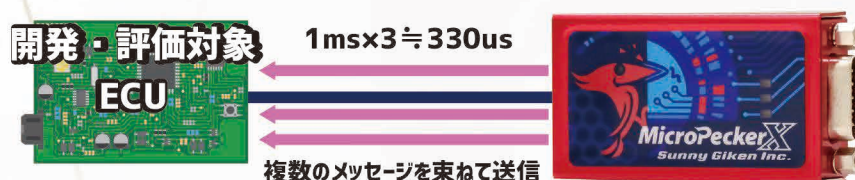
#### ○短周期のセキュリティメッセージを受信する ECU の対向



#### ○複数の ECU からセキュリティメッセージを受信する ECU の対向



#### ○セキュリティメッセージによる過負荷試験 [\*1]



[\*1] 推奨環境以上の PC スペックが必要です。

## ◆MicroPeckerX CAN-FD Analyzer

### ○[Analyze Window] ゲートウェイ解析機能の機能アップ

ゲートウェイ遅延 / 滞留の解析において、今までは同一プロトコル、同一 ID でのみ解析が可能でしたが、今回のアップデートで異なるプロトコル / ID での解析が可能となりました。

旧～ Ver.2.10

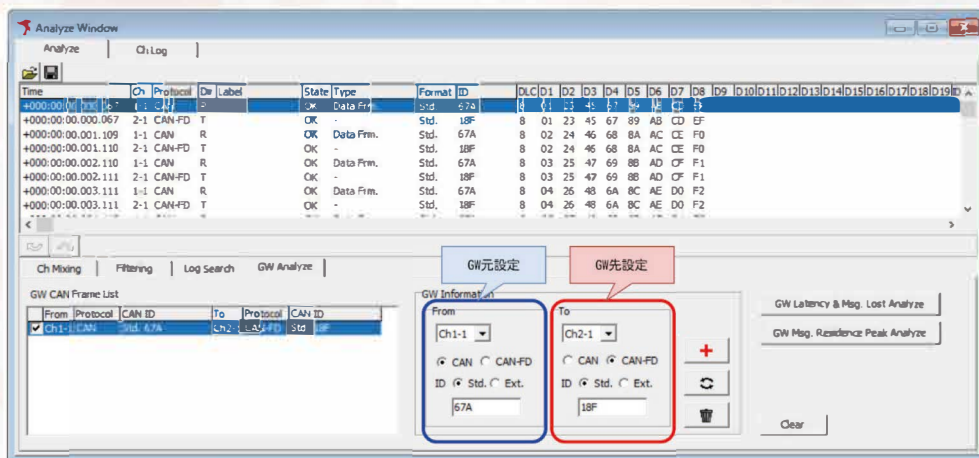
同一フレームのゲートウェイのみ解析可能



VerUP

新 Ver.2.20

異なるプロトコル / ID での解析が可能に！



## ◆MicroPeckerX CAN-FD アプリケーション開発ライブラリ for Windows

### ○64bit 環境の開発、.NET 開発環境に対応

ご要望の多かった 64bit 環境に対応しました。

お客様にて CAN/CAN-FD 通信を行う 64bit アプリケーションの開発を行うことが可能になりました。

.NET 用ライブラリも新たにご提供、C# や VB.NET 等の言語にてアプリケーションを開発可能です。

### ○C#、VB.NET、Excel 等充実したサンプルプログラムの提供

C++ 言語のサンプルプログラムに加えて、C#、VB.NET のサンプルプログラムをライブラリに添付。最新の Visual Studio ですぐに MicroPeckerX を使ったアプリ開発をお試しいただけます。

Excel シートにて MicroPeckerX を操作するサンプルも併せてご提供。

Excel VBA でも CAN/CAN-FD 通信テストなどの開発が可能です。